

2008年9月18日

プリント配線板用材料の価格改定を実施

日立化成工業株式会社(本社：東京、執行役社長：長瀬寧次、資本金：155億円)は、プリント配線板用材料の銅張積層板、プリプレグ、シールド板(内層回路入り銅張積層板)、感光性フィルムにつきまして、2008年10月21日出荷分より価格改定を実施することを決定しました。

1. 主要原材料の価格高騰の状況

(1) 銅張積層板、プリプレグ、シールド板(内層回路入り銅張積層板)

主要原材料である銅箔、ガラスクロスおよび樹脂・溶剤などの原材料価格が高騰を続けていることから、お客様にはこれらの一部を製品価格に転嫁させていただくべく、昨年7月に価格改定をお願いいたしました。その後も原材料価格が高騰しており、安定した原材料確保のためには原材料メーカーからの更なる値上げ要請を受け入れざるを得ない状況となっています。

(2) 感光性フィルム

主要原材料であるPETフィルム、ポリエチレンフィルム、樹脂・溶剤などの原材料価格は数年来高騰を続けてきましたが、今春以降も各原材料価格が一段と急騰しており、安定した原材料確保のためには原材料メーカーからの更なる値上げ要請を受け入れざるを得ない状況となっています。

2. 価格改定のお願い

弊社といたしましては、主要原材料の価格高騰に対応するため、生産性向上等の原価低減に鋭意取り組んでおりますが、既に自助努力の限界を超えており、止むに止まれず以下の通りお客様に価格改定をお願い申し上げます。

3. 価格改定製品と現行価格に対する改定幅

- | | |
|-------------|-----------|
| (1) 銅張積層板 | 平均 15%アップ |
| シールド板、プリプレグ | 平均 10%アップ |
| (2) 感光性フィルム | 25%アップ |

4. 実施時期

2008年10月21日出荷分より

〈ご参考〉価格改定を実施する製品概要

＝ 銅張積層板、プリプレグ、シールド板(内層回路入り銅張積層板) ＝

銅張積層板は、ガラス繊維を織り上げたガラスクロスにエポキシ等の樹脂を含浸させ、その両面に銅箔を張り付けた製品で、プリント配線板の基板材料です。一方、プリプレグはガラスクロスに樹脂を含浸させた製品で、プリント配線板を多層化する際の接着材料です。シールド板は銅張積層板の一種で、あらかじめ内層のみ回路加工を施した製品です。

＝ 感光性フィルム ＝

感光性フィルムは、プリント配線板等を製造する際、主として銅張積層板等の上に貼り付け、回路を形成するために用いられるフィルム状のレジスト材料で、ベースとなるPET等のフィルム上に塗工し、その上にポリエチレン等の保護フィルムを貼り、ロール状に巻いた製品です。

(報道関係お問い合わせ先)

日立化成工業株式会社 社長室(広報・IR) 長谷川、新田 TEL 03-5381-2371